

作成日 2000年 2月28日

改定日 2015年 9月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 UVR-150G R60

会社名 太陽インキ製造株式会社

住 所 〒355-0215 埼玉県比企郡嵐山町大字平沢900番地

作成部門 技術管理課

電話番号 0493-61-2731(直通)

FAX番号 0493-61-2719

緊急連絡先 営業部門 0493-61-2724(直通)

整理番号 MS-00032500-10

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性（表示の無い危険性区分は、分類対象外・区分外または分類できない）

引火性液体 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 経口 区分外

急性毒性 経皮 区分外

急性毒性 吸入（気体） 区分外

急性毒性 吸入（蒸気） 分類できない

急性毒性 吸入（粉塵/ミスト） 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

呼吸器感受性 分類できない

皮膚感受性 区分1

生殖細胞変異原性 分類できない

発ガン性 区分1 A

生殖毒性 分類できない

授乳に対するまたは授乳を介した影響 分類できない

特定標的臓器毒性（単回暴露）

呼吸器 区分1

特定標的臓器毒性（反復暴露）

腎臓 区分1

呼吸器 区分1

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 分類できない

水生環境有害性（長期間） 分類できない

オゾン層への有害性 分類できない

G H S ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激

発がんのおそれ

特定の標的臓器への障害

長期にわたる、または反復ばく露により特定の標的臓器への障害

注意書き

安全対策

- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書入手すること。

応急措置

- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ばく露した場合：医師に連絡すること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- 汚染された衣類を脱ぐこと。
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

保管

- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物／容器を各種法令等に従い適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 (成分)	含有量 (以上－未満)	化学式	C A S No.	危険有害成分		
				P R T R 法	安衛法	毒劇法 第57条2
アクリレート系樹脂	10-20%	－	非開示	－	－	－
アクリル酸エステルモノマー	30-40%	－	非開示	－	－	－
フタロシアニン [®] グリーン	0.1- 1%	－	非開示	－	379	－
タルク	10-20%	Mg3H2(SiO3)4	14807-96-6	－	－	－
シリカ	5-10%	－	非開示	－	312	－
結晶性シリカ	10-20%	SiO2	14808-60-7	－	312	－
光重合開始剤	1- 5%	－	非開示	－	－	－

4. 応急処置

- 吸入した場合：蒸気の吸入により、不快感を感じたら空気の新鮮な場所に移動し、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合：速やかに水または温水で洗い流した後、石鹼で良く洗い落とす。
- 目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、喉に指を差し込んで吐き出させ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤：炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：水
- 特定の消火方法：火元の燃焼源を断ち、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂などを用いて風上より消火する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：清掃作業者は、皮膚に付着しないように、必ず保護手袋や保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項：流出した製品が河川、水路などに流れ込むのを防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- 大量の場合は盛り土で囲って拡散を防止してから、ウエスなどに吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- 回収したあとを中性洗剤等の分散剤を用いて多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：取扱いは、換気のよい場所で行う。屋外での取扱いは、出来るだけ風上から作業する。
- 取扱う場合は、適切な保護具(8. 暴露防止及び保護処置の項を参照)を着用する。
- 注意事項：屋内での取扱いは、全体排気または局所排気装置の設置された場所で作業する。
- 安全取扱い注意事項：使用場所は火気厳禁とする。

保管

- 適切な保管条件：密閉容器に入れて換気良好な場所に保管する。 25℃以下冷暗所
- 安全な容器包装材料：密閉可能な容器

8. 暴露防止及び保護処置

- 設備対策：取扱う場合は、全体排気または局所排気装置を設ける。

管理濃度・許容濃度

	管理濃度	日本産業衛生学会(TWA)	ACGIH(TWA)
非晶質シリカ	—	総粉塵 8mg/m ³	dustTLV10mg/m ³
タルク	—	総粉塵 8mg/m ³	2mg/m ³ (R)
結晶性シリカ	—	吸入性粉塵 0.03mg/m ³	0.025mg/m ³ (R)

保護具

- 呼吸器用の保護具：有機ガスマスク
- 手の保護具：保護手袋
- 眼の保護具：保護メガネ
- 皮膚及び身体の保護具：保護服(帯電防止型長袖、長ズボン、前掛け)、保護靴(帯電防止用安全靴、ゴム長靴)等。

- 適切な衛生対策：取扱い後は、手洗い、うがい等を行う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 形状：ペースト

色：緑色

臭い：特異臭

臭いの閾値：データなし

pH：データなし

融点・凝固点：データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲： 沸点 所見なし

引火点： 142.0℃（クリーブランド開放式）

爆発速度：データなし

燃焼性（個体、気体）：データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限：データなし

蒸気圧： 0.01mmHg（25℃）

蒸気密度 1.07（Air=1）

比重（相対密度）： 1.4 ～ 1.6

溶解性：水溶解性成分 15.5%以下

n-オクタノール／水分配係数：データなし

自然発火温度：データなし

分解温度：データなし

粘度（粘性率）：140.0dPa・s ～ 160.0dPa・s

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の手扱い条件において安定。

反応性：水との反応性なし。

避けるべき条件：熱と光

混触危険物質：強酸、強アルカリ、過酸化剤および強酸化剤

危険有害な分解生成物：通常の手扱い条件において、分解生成物は生成しない。

燃焼により二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、その他の誘導ガス
または蒸気が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性：混合物としての急性毒性の知見なし

局所効果：混合物としての局所効果の知見なし

成分としての有害性情報

急性毒性 経口

光重合開始剤

区分 5

飲み込むと有害のおそれ

シリカ

区分 5

飲み込むと有害のおそれ

急性毒性 経皮

情報なし

急性毒性 吸入（気体）

情報なし

急性毒性 吸入（蒸気）

情報なし

急性毒性 吸入（粉塵/ミスト）

情報なし

皮膚腐食性・刺激性

アクリル酸エステルモノマー

区分 2

皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

アクリル酸エステルモノマー

区分 2 A

強い眼刺激

呼吸器感受性

情報なし

皮膚感受性

アクリル酸エステルモノマー

区分 1

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖細胞変異原性

アミン化合物

区分 2

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

発がん性

結晶性シリカ

区分 1 A

発がんのおそれ

生殖毒性

情報なし

授乳に対するまたは授乳を介した影響

情報なし

特定標的臓器毒性 単回ばく露

結晶性シリカ

呼吸器系

区分 1

特定の標的臓器への障害

特定標的臓器毒性 反復ばく露

結晶性シリカ

腎臓

区分 1

長期にわたる、または反復ばく露により
特定の標的臓器への障害

結晶性シリカ

呼吸器系

区分 1

長期にわたる、または反復ばく露により
特定の標的臓器への障害

吸引性呼吸器有害性

情報なし

12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報のデータなし

成分としての環境影響情報

水生環境有害性（急性）：情報なし

水生環境有害性（長期間）：情報なし

生体毒性：データなし

残留性／分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物及び汚染容器・包装の廃棄方法：

「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従い処理する。外部委託する場合は廃油（可燃性）であることを明記して、知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制：国際海上危険物規制（IMDG-CODE）：非該当

国際航空輸送協会 危険物規則（IATA-DGR）：非該当

国連分類：非該当

輸送の特定の安全対策及び条件：容器に損傷のないことを確認し、転倒、落下、損傷のないよう積み、輸送中の荷くずれ防止に努める。

15. 適用法令

主な適用法令は以下の通りです。

消防法：非危険物 指定可燃物 可燃性液体類（2 m³）

労働安全衛生法

第57条の2 通知対象物：該当（3. 組成、成分情報参照）

有機溶剤中毒予防規則：非該当

鉛中毒予防規則：非該当

労働安全衛生規則：非該当

特定化学物質等障害予防規則（特化則）：非該当

変異原性が認められた物質：非該当

化学物質管理促進法（P R T R）：非該当

毒物及び劇物取締法（毒劇法）：非該当

化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律（化審法）：非該当

労働基準法 施行規則 疾病化学物質（労災認定）：該当

アクリル酸エステルモノマー

労働基準法施行規則第35条別表第1の2第4号により定められた疾病化学物質（感作性）を含むため、

労働基準局長通達平成8年基発第182号の2に定められた措置（第1、第2）を講ずること。

水質汚濁防止法：生活環境項目（水素イオン濃度等）

土壌汚染対策法：非該当

悪臭防止法：非該当

大気汚染防止法 特定物質、指定物質、優先取り組み物質：非該当

揮発性有機化合物VOC排出インベントリー、都道府県への通達物質：非該当

オゾン層保護法：非該当

輸出貿易管理令：別表第1の1～15項：非該当

別表第1の16項：該当（キャッチオール規制対象）

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。また、混合物の成分名は化学名で記載した物を除き、企業秘のため、総称名または一般名を使用しています。

本製品の使用方法については、「本データシート」・「技術資料」を参照して、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。

本製品を海外へ持ち出される場合は、事前に弊社営業担当者までご一報下さい。

輸出に際して手続きが必要な場合がございます。